

岡本太郎《明日の神話》原画 特別展示

2010年7月31日(土)～9月5日(日)



岡本太郎《明日の神話》(一号原画) 1967年

《明日の神話》は人類の惨劇である原水爆をテーマとしながら、その惨禍に屈せず立ち上がり、明日への神話を紡いでいく、人類への希望が描かれています。現代美術館では、核廃絶の声が一段と高まる8月、市民をはじめこの時期に広島を訪れる皆様にご覧いただけるよう、《明日の神話》一号原画を特別展示いたします。

今回は、現在開催中の展覧会「夏のワークショップ・プロジェクト 2010 ふしぎの森の美術館」の出品作家である安部泰輔さんが、《明日の神話》にインスピレーションを受けて制作した《太郎の泉》と一緒に展示します。布を用いた作品で活躍する安部さんが古着で作ったこの作品は、一部がぬいぐるみになっていて、持ち上げると《明日の神話》とは異なる絵が出てきます。それはゴーギャンの作品《われわれはどこから来たのか、われわれは何者か、われわれはどこへ行くのか》の一部で、安部さんはこの作品と《明日の神話》が別の時代に描かれていながら、人の生や死、復活をテーマにしていることや構図が似ていることをヒントに合体させ、《太郎の泉》を作成しました。

展示では《太郎の泉》に座り、その前に置かれる《明日の神話》を鑑賞いただけるようになっています。表現の形態は違ながらも普遍的に共有される平和への思いをつなぎあわせ、鑑賞いただく皆様にとって、平和について深く考えるきっかけとなれば幸いです。ご周知をよろしくお願いいたします。

★安部泰輔(あべ・たいすけ)：1974年大分県生まれ、大分県在住。古着やはぎれを使ったぬいぐるみのインスタレーションや、観客との対話を通してぬいぐるみを制作するワークショップを各地で展開する。

【会期】 2010年7月31日(土)～9月5日(日)
【会場】 広島市現代美術館
【開館時間】 午前10時 - 午後5時 ※入館は閉館の30分前まで
【休館日】 月曜日(祝休日にあたる場合開館し、翌平日休館)
【観覧料】 無料

広島市現代美術館(学芸担当：山下 広報担当：後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121(掲載用)・082-264-1146(問い合わせ用・学芸直通)、FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp

